



Since 1972.2.24

帯広西ロータリークラブ

2

2009, FEBRUARY

第1798回例会

平成21年2月18日



# 会報

THE ROTARY CLUB OF OBIHIRO WEST  
Weekly Report

<http://www.tokachi.co.jp/wrotary/>



Make Dreams Real  
夢をかたちに

2009年2月

## 世界理解月間

会 長	越智 孝佳	広報委員長	久保 且佳
副 会 長	太田 万也	広報副委員長	堂山 啓太
副 会 長	神田 龍一	委 員	杉田 吉弘
幹 事	石原 英樹	委 員	安原 明彦
会 計	高田 晃一	委 員	飯田 正行
S A A	佐々木和彦	委 員	横田 幸宏
		委 員	上垣香世子



エコキャップの回収に  
協力して下さい

世界の子どもたちにワクチンを届けよう!

## 会長報告

帯広RC 曾我会長



7ロータリークラブの会員の皆さん、こんにちは。  
 本日は、遠くタイ国よりご招待いたしまして、快く承諾され昨日（2月17日）に来帯された名取美和さんを招いての7クラブ合同例会です。

特に今回は、国際理解月間に最もふさわしい方をゲストに迎え光栄に思います。

名取さんは、「母子感染したエイズ孤児の支援活動」の功績により2004年に「第1回読売プルデンシャル福祉文化賞」や、「日経ウーマンオブ・ザ・イヤー」の受賞を始め毎年のように福祉、文化、国際平和に関する賞を数多く受賞されています。

後ほど、ご本人からお話があると思いますが、なんと50歳を過ぎてから、それも外国の地で福祉活動に入るのは、ものすごく勇気と決断がいることと思います。

ましてや、誤解と偏見の多いエイズ孤児に対してのお世話です。本当に驚きと尊敬の念を禁じえません。

では、講演時間があまりないので、挨拶は短く終わらせていただきます。

本日は7ロータリークラブのために来日、そして遠くは北海道、帯広市まで来帯いただき誠にありがとうございました。

## たいまつ宣言

この「たいまつ宣言」は創立30周年にあたり、西ロータリークラブの創立の心を知るところから発し、我々が未来へ向けての道標とするものである。たいまつのように我々の行く道を照らし、明るい未来へと導くものである。

- 1.我々は 垣根のない交流を目指し 友情の輪を拡げる
- 1.我々は 他に依存することなく 自らを発する
- 1.我々は 常に変革をもって 行動する
- 1.我々は 自己の研鑽の為に 真の奉仕を实践する
- 1.我々は 生涯現役であり 活動に引退はない

## 出席状況報告

月/日	1/8	1/15	1/22	1/29
例 会	1793回	1794回	1795回	1796回
総会員数	70名	70名	70名	70名
計算に用いる 出席数	64名	64名	64名	64名
ホームクラブ出席	45名	47名	46名	40名
メークアップ総額	15名	13名	12名	19名
欠 席 者	4名	4名	6名	5名
出 席 率	93.8%	93.8%	90.6%	92.1%

## 今月の主な行事

- 2月 5日 誕生・結婚祝
- 12日
- 19日 ※休会
- 26日 創立記念夜間例会



帯広5ロータリークラブ・芽室ロータリークラブ  
・音更ロータリークラブ合同例会

総合司会 帯広RC 小倉SAA  
 点鐘 帯広RC 曾我会長  
 開会宣言 帯広RC 小倉SAA  
 ローターソング (奉仕の理想)  
 ビジター紹介 帯広RC 後藤副会長  
 講師入場 先導 帯広RC 神谷副会長  
 講師紹介 帯広RC 曾我会長

バーンロムサイ代表 名取美和様  
 (現在は、タイでエイズ孤児の支援活動に従事)

会長報告 帯広RC 曾我会長  
 会務報告 帯広RC 松島幹事

①第2500地区第6分区【IM】開催のご案内

日時 平成21年3月8日(日) 12:30~18:50  
 (プログラム概要)

- 1.登録受付 12:30~13:00
- 2.開会式 13:00~13:30
- 3.講演ならびにフォーラム 13:30~16:45

2006-08RI理事 渡辺 好政 様  
 RI第2500地区パストガバナー 道下 俊一 様

- 4.閉会式 16:45~17:00
- 5.懇親会 17:15~18:50

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※帯広北RC、3月6日(金)の繰下げ例会とします。

帯広南RC、3月9日(月)の繰下げ例会とします。

帯広東RC、3月10日(火)の繰下げ例会とします。

②帯広RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成21年2月25日(水)午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

③帯広西RC、夜間例会開催のご案内(創立記念夜間例会)

日時 平成21年2月26日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

④帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 平成21年2月27日(金)午後6時30分

場所 ジグザグ

⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日時 平成21年3月3日(火)午後6時30分

場所 50' CLUB (フィフティーンズクラブ) <西2南10 石川屋ビル4F>

⑥帯広RC、夜間移動例会開催のご案内(創立記念例会)

日時 平成21年3月11日(水)午後6時30分

場所 帯広東急イン

⑦帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 平成21年3月26日(木)午後6時30分

場所 北海道ホテル

⑧帯広北RC、3月20日(金)は祝日のため休会と致します。

帯広南RC、3月30日(月)は休会と致します。

帯広東RC、3月31日(火)は休会と致します。

委員会報告

ニコニコ献金

出席報告

プログラム

講師経歴紹介

帯広RC 国際奉仕委員会 新田会員

講演 バーンロムサイ代表 名取美和様

演題

【タイ チェンマイでエイズ感染孤児たちと共に暮らして気づかされた多くのこと】

バーンロムサイは両親をエイズで亡くし、自分たちもHIVに母子感染した孤児たちの生活施設です。イタリアの服飾メーカーの日本法人、ジョルジオ アルマーニ ジャパン社の資金協力を得て、1999年12月にタイ北部のチェンマイ市郊外に開設されました。開設10年目に入った現在、5歳から17歳まで31名の子ども達が暮らしています。

当初から私たちはバーンロムサイを単なる孤児院ではなく、「大きな家族」にしたいと考え、大人が管理しやすいシステムをとらずに、子どもが子どもらしく暮らせることを基本に運営してきました。広々とした緑豊かな敷地内で、衛生環境を整え、日々の健康管理、バランスの取れた食事を生活の基本におき、子ども達のことはできる限り彼ら自身が話し合っている。試行錯誤の中で今もそんな取り組みを続けています。

それでも開設からの3年間は命との戦いの日々で、エイズを発症した子ども達を10名亡くしてしまいました。しかし多くの方々のご支援と新しい抗HIV療法のおかげで病気の発症をかなり抑えられるようになり、2002年10月以降は誰ひとり亡くなることなく、31人全員が元気に暮らしています。

バーンロムサイに来るまでに両親の死、差別や偏見など辛い体験をした子どもたちですが、今ではここを自分たちの「家」と感じ、心から安心して生活しています。31人の子どものうちには31の個性と可能性があります。多くを望むわけではありませんが、爽やかに人を思いやれる大人に育ってほしい。そして、できることなら自分が得意とすることで、将来生計を立ててもらいたい。そんな「親心」から、バーンロムサイでは勉強だけでなく、子どもたちがいろいろな体験ができるような様々な取り組みも行っています。

「絵を描くこと」「陶芸をすること」「映像を撮ること」「伝統的なダンス」「演劇」「染織」「裁縫」「水泳」「サッカー」「合気道」「コンピューター」などはそんな活動の一部で、これらはおもにタイ人や日本人のボランティアによって進められています。バーンロムサイの子どもたちが無事に成長し、いつの日か社会に出る時に、そうした体験や技術が役に立つく

ればと願うばかりです。

開設当初はHIV/エイズに対する偏見や差別が根強く、せっかく入学した村の小学校を退学させられる苦い経験もありましたが、現在では村の小学校と共同でエイズ啓発活動や課外授業などを行うようにまでなりました。また地域のエイズ患者への医療、教育、食事の支援などの活動も少しずつですが始めました。これらの活動をきっかけに、私たちの活動ももっと地域社会に根ざしたものに発展できるのではないかと考えています。

ただエイズの発症を免れたとしても、子どもたちが孤児であることには変わりはありません。またHIVウイルスが消滅する新薬が開発されない限り、彼らは今後一生、抗HIV剤を飲み続けなければいけないのです。恋愛やセックスの問題、自分の子どもをもつことが難しいという現実、背負った運命とどう折り合いをつけて生きてゆくのかなど、新しい課題にも直面していくことでしょう。しかしそれもまた、子どもたちが無事に成長している証拠だと捉え、私たちは彼らとともに一つ一つの問題に向き合っていくつもりです。

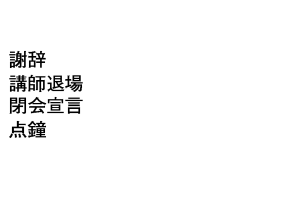
またバーンロムサイでは将来皆様のご寄付に頼るだけではなく、もっと自立した運営を目指そうと動き出しました。子どもたちが「親」の働く姿を見るのは大切ですし、お金は天から降ってくるのではなく、生きるために人は自ら働き、稼がなくてはならない現実も学んでほしいのです。

自立への模索と生きる現実を伝えるために、現在私たちはホームの敷地内でのゲストハウスの運営を始め、草木染、織物、縫製等の作業に取り組んでいます。将来バーンロムサイの中からゲストハウスの運営をしたいと言う子どもが現れるかもしれません。染めや織りをする子、コンピュータープログラマーになりたい子が現れるかもしれません。病気の発症を抑えれば、子どもたちには可能性と未来がある。そう確信したときからバーンロムサイは大きな転換期を迎え、黎明期から挑戦期への新しいステップに踏み出したといえるでしょう。

また、日本の皆様にもHIV/エイズのこともっと知っていただきたい、HIV感染者の数が増え続けている現実にも目を向け、自分のことは自分で守る意識を持っていただきたい、そう考え、私たちは女性が気軽に買えるコンドーム「MissCondom」を制作し、バーンロムサイからのメッセージや手作りの熊を添えて販売する活動も行っています。

HIVに感染していても、生みの親を知らずに育っても、明るく楽しい人生が送れる。たとえ血が繋がってなくても、温かい「家族」になれる。バーンロムサイでの暮らしを通して、子どもたちがそんなことを感じ取ってくればと願っています。そして自分たちはいかに多くの人々に支えられて、生きてきたかを理解し、その感謝の思いを周囲に返していける大人に成長してほしいと思います。

運営の自立を目指してはいるものの、その道のりはまだまだ遠いのが現状です。子どもたちが病気を発症せずに生き延びていくためには、どうしても皆様の継続したご支援が必要です。これからも長い目でバーンロムサイの子どもたちの成長と活動を見守り、様々な形で支え続けていただければと思います。どうぞよろしくご厚意申し上げます。



謝辞 帯広北RC 高田会長  
 講師退場 先導 帯広RC 神谷副会長  
 閉会宣言 帯広RC 小倉SAA  
 点鐘 帯広RC 曾我会長